



桃山学院大学
St. Andrew's University

2021 年 12 月 21 日

報道関係各社 御中

先輩から後輩へクリスマスプレゼント

**12 月 20 日（月）に桃山学院大学同窓会が、
学生へ食料の支援『年末年始食料支援プロジェクト』を実施**

【キーワード】

「桃山学院大学」、「桃山学院大学同窓会」、「学生への食料支援」

【本件ポイント】

- ◎コロナ禍における、学生への支援として本学同窓会による食料支援を行いました。
- ◎和泉キャンパスとあべの BDL（ビジネスデザイン・ラボ）の両キャンパスの学生に対し、支援物資が配布されました。
- ◎学生や、本学関係者に対する取材が可能です。



（当日の様子）

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：牧野 丹奈子、2021 年 5 月 1 日時点：学生数 6,493 人）では、建学の本旨たるキリスト教精神に基づき、コロナ禍における学生を支援することを目的として、一般社団法人桃山学院大学同窓会（大阪府大阪市、会長：上原 猛）の寄付による「年末年始食料支援プロジェクト」を 12 月 20 日（月）に実施しました。

「経済的理由で遠隔授業の受講を希望している。」「経済悪化による、生活費や交通費の節約。」

2021 年 11 月に本学が実施した全学生に対するアンケートを実施したところ、コロナ禍前と比較して、経済的に悪化している、といった声がありました。

2021 年 3 月に文部科学省が実施した「新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査（結果）」では、経済的な状況に関する悩みを持つ学生が全体の 40.7%を占めていることが報告されています。そのうち、21.7%の学生が生活費（食費や家賃を含む）に悩みを抱えていると回答しています。

また、本学において 2021 年 10 月に実施した新入生へのアンケート調査でも、今年度のクラブ・サークル加入率がコロナ前の 1/4 程度まで下がっている状況であるとともに、上記のように生活に関する悩みを抱えているとの回答が一定数あることから、本学において「少しでも明るい話題を提供したい」と学生への支援について検討していたところ、本学同窓会より後輩学生に対する支援の申し出があり、クリスマスの時期にあわせて今回の取り組みが実現しました。

当日は、和泉キャンパス（大阪府和泉市）および、あべの BDL（大阪府大阪市阿倍野区）の学生に対し、支援物資が直接渡されました。開始前から多くの学生による行列ができ、開始後約 15 分ほどで配布が終了しました。

和泉キャンパスで支援物資を受け取った学生からは、「こんなにたくさん支援品が入っていると思っていなかった。一人暮らしなので大変助かります」という声や「ほとんど調理せずに使用できるのでありがたい」「お昼ごはんも節約している状況なのでとても嬉しいです」「一人暮らしなのでとにかく嬉しいです」などの声が聞かれました。

当日実際に支援を受けた学生や、本学関係者に対する取材が可能です。

《支援に関する詳細》

日 時：2021 年 12 月 20 日（月） 12:30～

場 所：桃山学院大学 以下の 2 か所にて

1. 和泉キャンパス内 聖救主礼拝堂（チャペル）（大阪府和泉市まなび野 1 番 1 号）
2. あべの BDL（大阪府大阪市阿倍野区昭和町 3-1-57 聖テモテ館）

配布数：支援物資 260 セット

《その他（本学の取り組み）》

2021 年 12 月 13 日（月）から 23 日（木）、および、2022 年 1 月 7 日（金）から 24 日（月）の期間中、本学食堂にて「100 円朝食」を実施しています。この取り組みは、コロナ禍における学生の生活支援に加え、「朝食の大切さ」を伝える取り組みとして、2014 年度から実施しているものです。

《2020 年度からの桃山学院大学における主な新型コロナウイルス対応について》

2020 年度の取り組み

<https://www.andrew.ac.jp/newsttopics3/2020/h1026a000000hxp.a.html>

2021 年度の取り組み

<https://www.andrew.ac.jp/newsttopics3/2019/h1026a000000h9ef.html>